

# 中|小|企|業 ひろしま

## No.767

広島県中小企業団体中央会

令和2年12月10日発行(毎月10日発行)

力を合わせて  
ともに成長し、  
広島をもっと元気に。

2020  
12  
— December —

### INDEX

#### 特集 1～3

#### コロナ禍でさらに注目を 浴びるSDGs！

～「グレート・リセット」に向けたSDGsの必要性とは？～

#### 中央会ニュース 5～8

～ピンチを乗り越えていく中小企業の経営戦略～  
ものづくり連携倶楽部ひろしま 第12回講演会をオンライン開催

「With・Afterコロナにおける事業経営調査」に係る  
結果報告

リーダーシップを学び、体験する研修会  
～組合女性職員研修会～

#### 組合士会ニュース 9

コロナ禍で果敢に挑戦する組合の実践事例で研修会を開催  
～組合士会研修会～

#### 組合ニュース 10

コロナ禍でがんばる組合・企業の実践事例を紹介！

#### 表彰 11

林野庁からの表彰 福山木材協同組合

#### お知らせ 12～13

テイクアウトやテラス営業などのための道路占有の  
許可基準を緩和します

小学校休業等対応助成金の活用法と相談窓口のご案内

#### 10月景況レポート 14～16



写真提供：広島県

### 山県郡安芸太田町 「戸河内割物」

お鍋の底に沈まず浮き上がる  
「浮上お玉」が有名です！



中小企業ひろしまの  
マスコット  
ヒロミちゃん

特 集

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## コロナ禍でさらに注目を浴びるSDGs！ ～「グレート・リセット」に向けたSDGsの必要性とは？～

これまで、広島県中央会では、本年2月のSDGsをテーマとしたセミナーの開催を皮切りに、中小企業や組合におけるSDGsへの取り組みを推進してきました。当会報誌でも、本年2月号及び4月号にてSDGsの特集記事を掲載し、中小企業における取り組みの必要性や地元企業の連携による取り組み事例などをご紹介いたしました。

新型コロナウイルスの世界的な蔓延は未だ収束の目処が立たない中、今、世界ではこの「コロナ危機」を契機に経済社会の様々な基盤をリセットする「グレート・リセット（大変革）」の議論がなされています。これまでの様々な価値観や社会の仕組みは、根底から見直さなければ持続可能な未来が作れないのではないかといいものであり、SDGsの考え方とも深く関連しています。今後は、規模・業種・業態にかかわらず、どの企業においてもSDGsの取り組みは、より不可欠なものになるのではないのでしょうか。

今回の特集では、この「グレート・リセット」にも注目しながら、中小企業や組合におけるSDGsへの今後の取り組みについて考えます。



### SDGsと「グレート・リセット」

「グレート・リセット」は、2021年1月に開催される世界経済フォーラムの年次総会（ダボス会議）のテーマにもなっています。ポスト・コロナは単に元に戻るのではなく、これを契機により公正で持続可能かつレジリエンス（適応・回復する力）のある未来のために、経済・社会システムの基盤をリセットし、緊急に構築する必要があるというものです。

新型コロナウイルスに打ち克つためには、より強靱な「包摂的」で「持続可能」な経済と社会を作り、パンデミックからの「よりよき回復」が必要です。SDGsに取組むメリットとして、これまでどちらかといえば、社会課題の解決を通じた新たな機会の創出といった面が強調されることが多かったように思いますが、今回の新型コロナウイルスの世界的蔓延によって、SDGsがリスク管理においても機能することが、いち早くSDGsに取組んできた自治体や企業において再認識されています。

ニューノーマル、更には今後の「グレート・リセット」に向けて、生活の仕方や働き方（テレワーク導入など）の抜本的な見直し、多くの企業では経営方針の見直しも必要となってきます。例えば、中小企業でも必ずどこかのサプライチェーンに属しており、自社がサプライチェーンのどこに位置し、新型コロナウイルスのようなパンデミックや新たな問題がまた起きた際には、どのような影響があるかを把握することが重要となります。

新しい生活様式へのシフトは、企業活動をすでに大きく変えつつあり、手探りでアフター・コロナ時代に向けた経営戦略を構築しようとするところも多いのではないのでしょうか。この大変革の時代において、より持続可能な経済社会システムへと未来志向で変革するための羅針盤がSDGsだとされています。



## 中小企業こそ、持続可能なビジネスチャンス！

企業にとって、SDGsに取り組むことの意義は、「未来志向のビジョン」、「社会貢献企業としてのブランディングと世界発信力」であると言えます。

SDGsは大企業を中心に広がりを見せつつありますが、中小企業こそ、経営者の判断が組織の隅々までトップダウンで浸透しやすいため、すぐにでもSDGsに取り組むことができます。

明確な17の目標と、169のターゲットは、地球・世界・社会で将来困っていることが非常に広い分野にわたり体系的に整理されており、人々からのニーズが裏打ちされているので、自社が率先して取り組むことでビジネスチャンスをつかむことができるのです。



## SDGsは企業の存続を目指す“戦略的投資”

### 「SDGsに取り組むと儲かるのか？」

SDGsは、10年後以降にも企業の存続を目指すための戦略的投資と考えるべきであり、短期的な収益（儲け）は期待できないものとなります。つまり、「10年後、20年後に、自社の存在意義を社会や社員に認めてもらって、社会に役立つ企業になりたいか」というもので、経営者自身が未来志向によりその判断をすべきものです。

言い換えれば、SDGsは、短期的な視野でなく、未来を先取りした社会課題の解決に向け、自社のビジョン（事業目標）、ターゲット（達成基準）、評価指標を設定できるヒント集として活用できます。これらに基づいた経営活動は、収益を上げつつ、社会貢献事業を実現することにつながり、ひいては、社員のモチベーション向上、優秀な人材の確保にもつながります。

自社の強みを生かした中・長期経営計画を立案し、社内に新規事業部門を立ち上げ、小さな成功を積み重ねることで、世界や社会、そして顧客から評判の良い企業経営を目指していくことができます。

その際、事業ミックスとして、現状の収益事業の成長戦略と、未来に向けたSDGsの戦略的投資をできる範囲で組み合わせることが肝要になります。



## 自社のビジョンをSDGsの目標、ターゲット、指標で構築

今までは自社独自（我流）に経営理念やビジョンを立てていたというところも多いかと思いますが、自社ビジョン（未来の方針と到達目標）をSDGsの持続可能な目標とターゲットに具体的に対応づけ、SDGsを志向したものとして再構築することがポイントになります。

中・長期事業計画の立案時にも、それぞれ目標に対応している169のターゲットの中から該当するものを選定します。

これらのことができれば、中小企業でも、世界に通用する持続可能な企業経営を目指せるチャンスを生み出すことができます。

実際に、日本の表彰制度として始まった「SDGsアワード」の中には、大企業のみならず、中小企業、小規模な自治体、教育機関でのSDGs活動が優秀と認められ、表彰されています。

※「SDGsアワード」2019年度 第2回【特別賞「SDGsパートナーシップ賞」】を福山市にある株式会社虎屋本舗（和菓子製造業）が受賞。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





## 【組合でのSDGs取組み事例】

横浜市資源リサイクル事業協同組合（横浜市）

子供の提案に背中を押された！

地産地消×地域循環をリユースびんが繋ぐ

物流面も含めたコスト、容器改革、ライフスタイルの変化などにより、圧倒的にリユースびんの数減っています。地域の酒屋さんの数も減り、ビールびんや一升びんを回収する文化はなくなりつつありますが、その価値を事業者としても再認識させられたのが環境絵日記を通しての小学生の提案でした。組合では、地域経済の活性化や、循環型社会の実現を目指し、独自のリユースびんを開発、飲料を販売、使用後のびんを回収、洗浄し、再び中身を充填するリユースの仕組みを構築しました。地域でリユースの仕組みを回すことにより、運搬の距離や手間が省け、環境負荷も減ります。

中身となるジュースは「地産地消」と「地域循環」をコンセプトとして選定し、販売できない、摘果された早摘みみかんなどを使用、子どもの提案から大人のライフスタイルを変え、生産者と消費者を「リユースびんがボタンとなって繋ぐ」多面的な事業として成長しています。



## ○広島県中央会主催のSDGsセミナーを開催し、SDGs経営へ向けた支援を行います！

広島県中央会では、昨年度に引き続き、青山学院大学経営学部の玉木教授をお招きし、これからの時代におけるSDGs経営の必要性をテーマとしたオンラインセミナーを令和3年3月上旬に開催する予定です。玉木教授の講演の他、組合や中小企業でのSDGs取組み事例の発表も行います。

今後は、SDGs経営に向けた事業計画の策定など、具体的な支援を希望される組合・企業に対して、専門家等による支援を行っていくこととしております。無料で専門家を派遣できる制度も活用できますので、詳しくは担当指導員までご相談下さい。

### 【SDGs経営に向けた具体的なアクション】



# 火災共済



**火災**

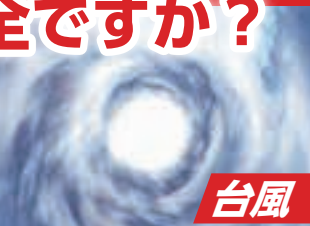


**落雷**

災害はいつ起こるか分からない…  
**備えは万全ですか？**



**水災**



**台風**

広島県共済の **総合火災共済** は  
万一の災害から、大切な事業所・  
お住まいを守ります!!

# 労災費用 共済

新登場

従業員と事業所の  
「安心・安全」のために  
誕生した共済制度です。

《事業所の様々なリスクを複合的にサポート》

従業員の業務中のケガをしっかり補償  
**法定外給付費用  
補償**

事業所の費用損失を補てん  
**事業者費用  
補償**

労災訴訟による事業所の損害賠償を補償  
**使用者賠償責任  
補償**

労働問題にしっかり対応  
**労働紛争  
弁護士費用補償**



つなげる力で、安心と成長を

**広島県共済**

(広島県認可)

 広島県中小企業共済協同組合  
 〒730-0048 広島市中区竹屋町4-17  
<https://www.kyosai.or.jp>

 広島県共済組合員相談室  
 ☎0120-708030


## 広島県中小企業団体中央会団体扱 「オーナーズプラン」のご案内

BESTパートナー  
**大樹生命**

# Owner's Plan



事業保全資金  
事業承継・相続  
就業不能  
役員の退職慰労金・弔慰金  
従業員の退職金・弔慰金

限りない繁栄のために…

リスクマネジメントは万全ですか？

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

**大樹生命保険株式会社** <https://www.taiju-life.co.jp/>

**広島支社** 〒732-0828 広島県広島市南区京橋町 1-23 大樹生命広島駅前ビル 6F TEL:082-262-0250

**福山支社** 〒720-0043 広島県福山市船町 7-25 ケイエスビル 7F TEL:084-928-3388

B-2020-5002 (2020.4)  
使用期限 2021.3.31

※ 一部対象とならない商品・契約がございますので、  
詳細は下記までお問い合わせください。

# 中央会 NEWS

## ～ピンチを乗り越えていく中小企業の経営戦略～ ものづくり連携倶楽部ひろしま 第12回講演会をオンライン開催

広島県中央会では、11月26日(木)に、「ものづくり連携倶楽部ひろしま 第12回講演会」を開催した。当講演会は、県内ものづくり企業を中心とした中小企業者の新たな連携を支援することを目的としている。今回は新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、オンラインのミーティングツール「Zoom」を利用し、はじめてのオンライン開催となった。

### 講演会

#### 【講師】

株式会社ひびき精機 代表取締役社長

松山英治 氏

(<http://www.hibikiseiki.com/>)



同社は山口県下関市に本社を構える金属加工会社で、半導体製造装置部品や航空宇宙関連部品などの加工を行っている。

また同社は社内LANが珍しい1996年から既に構築に着手し、「アナログとデジタルの融合企業」を標榜するようになった。現場にパソコンが増え始めた一方、古い社員が馴染めずに辞める例も出て来た。

2008年のリーマンショックで打撃を受けたが誰も辞めさせなかったこと、菊川工場の増設ではデジタル化を強化させた生産システムを構築していたことにより、翌2009年には業績はV字回復した。

2014年には菊川第2工場を建設。「働き方改革」への社内意識の高まりも相まって、生産システムが急速に充実していった。また、第3工場を見据えた「IoT」、「TPM活動(全員参加の生産保全・経営)」も積極的に推進した。

2020年、菊川第3工場を建設。「機械に稼がせる工場」をキーワードに、デジタル変革時代に本格チャレンジを開始した。極限まで「無人化」に近づける工場を目標に掲げて



いる。TPM活動で作業工数と残業時間の合計で年間2,000時間を削減し、「残業減⇒収益増大⇒福利厚生向上⇒働きがいの向上⇒士気向上⇒残業減」という好サイクルが構築でき、同社にとっては「機械に稼がせる＝働き方改革」であることを改めて確信した。

2020年を大変革元年と位置づけている同社は、スマートファクトリーを実現するため、NTT西日本と連携してローカル5Gの実用化を進めている。しかし、IoT化や工場の自動化が進んでも、モノづくりの「心」を育てないと「技」は育たないと考えており、会社の基本方針である「人が資本、人が財産」という理念に変わりはない。

今後も、「社員の成長なくして会社の成長はありえない」「ものづくり企業の基礎・基本は五感を駆使した職人づくり」という考えをベースに、若い人材が活躍できる環境を与え続け、「技術・技能伝承企業」として挑戦を続けていく。

### 事例発表会

#### 【講師】

平岡工業株式会社 専務取締役

平岡良介 氏

(<http://www.hiraokaind.co.jp/>)



自動車部品の金型製作などを主力としている同社は、今年に入り、コロナショックでの急激な売上減少に見舞われたが、この厳しい状況を打開するため、フェイスシールドプロジェクトをすぐに始動させた。この動きの早さには、2008年のリーマンショックの経験が活かしている。当時も





急激な売上減少に襲われる中、長年培ってきた技術と経験を活かした新事業を模索し、写真をそのまま立体にできるフォトレリーフ事業に参入した。この事業はメディアでも取り上げられ、一定の売上を獲得するとともに、社員の中の新しいものづくりに挑戦する意識、世の中のために役立ちたいという意識も高まった。



この成功体験をもとに、立ち上げたのがフェイスシールドの自社ブランド「HIRAX」。同ブランドの基本理念は、80年培ってきたものづくり技術の経験を活かし、豊かな社会に貢献すること。100万個というとても大きな販売目標を目指し、クラウドファンディングの活用や、美しいフォルムと軽い付け心地を実現するために、メガネ会社との共同開発、SNSやメディアで医療従事者や接客業の方をターゲットに絞ったエッジの効いた広報戦略を展開している。

新事業への挑戦が根付いた同社は、ビジネス環境の変化への対応力と、ものづくり人材の育成力を急激に高めている。

#### 【講師】

有限会社フルカワ 代表取締役

小川國博 氏

(<http://furukawaplastic.com/>)



同社は、「一歩前進」を企業理念として、広島県北の庄原市を拠点に再生プラスチックの製造販売を行っている。プラスチックの需用は使い捨ての時代となっており、その廃棄量の多さが環境問題に発展している現状がある。このため、現在は資源の循環性を高める動きが世界的に活発となっている。



同社の最大の武器は再生プラスチックの調合ノウハウと再現性であるが、再生量も地域でNo.1である。この再生量を支えるのは、計画的かつ大胆な設備投資であり、ものづくり補助金にも4度採択されるなど、計画性・革新性ともに



優れた設備投資を積極的に行っている。2019年には、廃プラスチックの再利用品を高品質かつ大量に再生でき

る体制を整え、循環経済型モデルも完成させた。

同社は今後も、地球にやさしい持続可能な社会の実現に寄与するとともに、地域内でも雇用を強化することで、中山間地域経済の発展にも貢献していくこととしている。

広島県中央会では、今後も「ものづくり連携倶楽部ひろしま」を継続し、企業の新規事業の創出や独自製品の開発事例やそのプロセスを紹介することにより、ものづくり企業等の成長支援を図ることとしている。

#### 【次回予告】

～ものづくり連携倶楽部ひろしま 第13回講演会

(オンライン)の開催について～

開催日:令和3年2月10日(水)

講師:株式会社テルミック

代表取締役 田中秀載 氏

(<https://www.tel-mic.co.jp/>)



# 中央会 NEWS

## 「With・Afterコロナにおける事業経営調査」に係る結果報告

会員組合及び関係者の方々にご協力頂き実施することが出来ました同調査の結果を報告します。この結果については、広島県(商工労働局)に報告する他、各種要望・提案の参考資料とさせて頂いております。

業種別の集計も行いましたが、全体的傾向に特筆すべき差は見られなかったため、紙面の都合上、今回の報告では省略させて頂きました。

また、「ビジネスモデルの見直しや再構築」を57.1%もの事業者が検討していることから、広島県中央会ではWith・Afterコロナを見据えた事業計画の作成支援を強化すると共に、国・県に対して支援制度の充実を要望しています。

1. 目的 新型コロナウイルス感染症の影響が続き、中小企業経営は厳しさを増しているため、当会の支援のあり方や県等への施策の提案等の基礎資料とすることを目的に実施した。

2. 調査期間 令和2年10月12日(月)～16日(金)

3. 調査対象 広島県中央会会員組合及び組合員企業 3,289件

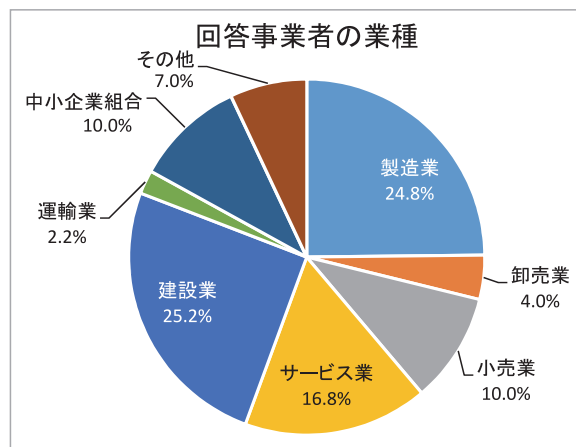
4. 調査方法 Webアンケート方式で、メールにて要請。中央会会員組合を経て、組合及び組合員企業に回答を求めた。

5. 回収状況 有効回答数:971件(有効回答率:29.5%)

6. 調査結果概要

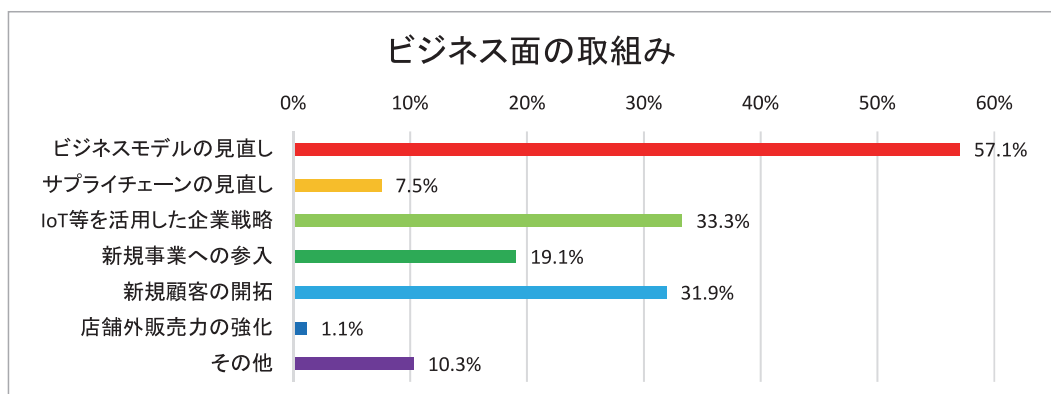
### (1) 業種

今回のアンケート調査協力事業者は、「建設業」と「製造業」が最も多く、この2業種で50%となっている。次いで「サービス業」が16.8%であった。



(2) ビジネス面においては、どのような取り組みを進めていきたい考えですか(複数回答可)

「Withコロナ・Afterコロナ下でのビジネスモデルの見直しや再構築」が最も多く、「インターネット、IoT等を活用した企業戦略」、「新規顧客の開拓」がこれに続く結果となった。

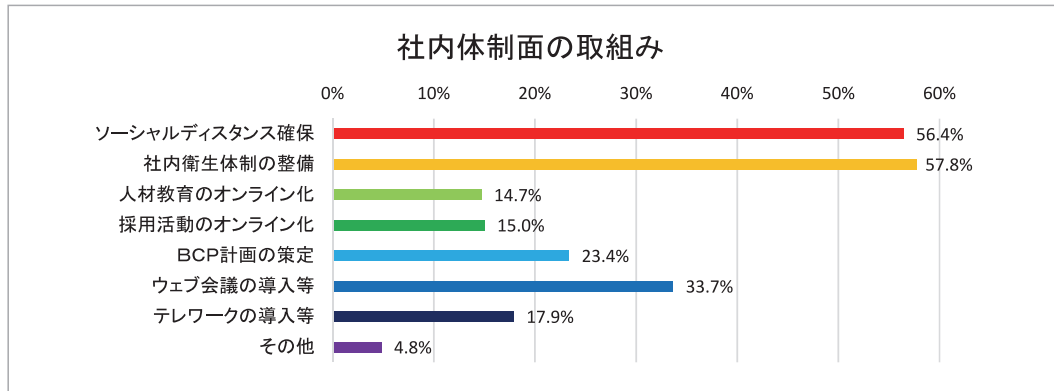


※グラフでは、質問を省略して表示しています。



## (3) 社内体制面においては、どのような取り組みを進めていきたい考えですか(複数回答可)

全体として、「社内衛生体制の整備(マニュアル策定、飛沫防止対策等)」、「社内のソーシャルディスタンス確保(工場、店舗、オフィス)」が多くなっており、共に50%を超えている。次いで、「ウェブ会議の導入・強化」が多くなっている。



※グラフでは、質問を省略して表示しています。

## 中央会 NEWS

### リーダーシップを学び、体験する研修会 ～組合女性職員研修会～



ワークショップの様子

広島県中央会では、毎年、組合事務局等女性職員が、その持てる能力を発揮できるよう、きっかけとなる研修の機会を設けている。

今年はコロナ禍により、これまで当たり前であった様々なことが覆されるなど、世の中の多くのことが急変した。こうした変化の中で組織が存在価値を発揮するためには、経営者、管理職の立場にある者に限らず、全ての職員に一層のリーダーシップが求められる。

そこで今回の事例紹介は、協同組合夢高原市場の佐古理事長に依頼した。同理事長は、結婚を機に初めて畜産に関わり、経験なく始めた町内の1次産業を、6次化による高付加価値化、ブランド化に成功し、売上を伸ばしている。その中核施設としての共同加工施設の実現や世羅高原6次産業

ネットワークなど、目標実現のために、行政、組合員、顧客をも巻き込んだその活動はリーダーシップについて学ぶべき優れた事例と考えた。現地では、仕事への向き合い方やリーダーとして大切にしていることについて佐古理事長から学ぶと共に、従業員から見える理事長の姿や、従業員自らの取り組みについても説明を受けた。

その後、参加者でチームに分かれ、協同組合夢高原市場の新たなプロジェクトを企画提案し、プレゼンテーションすることで、リーダーシップを疑似体験する機会を提供した。

参加者からは、リーダーシップの重要性について実感すると共に、その難しさについて多くの意見が出されたが、何れも前向きな意見であり、参加者の今後の活動に活かされるものと期待される。

本会では、今後も参加した職員が業務の実践に活かせるよう、主体的に関わりのできる学びの場を企画していく。

# 組合士会NEWS

## コロナ禍で果敢に挑戦する組合の実践事例で研修会を開催 ～組合士会研修会～

広島県中小企業組合士会では、組合士の資質向上を目的に、毎年、組合の現場を体験するための視察研修会を開催している。しかし今年はコロナ禍のため、現場への訪問を控え、オンラインでの開催とした。テーマは「コロナ禍に対応し、ニューノーマルな時代を生き抜くために」とし、第1部で「オンライン会議、グループウェア活用」を、第2部で「コロナ禍での組合の取り組み事例」を、第3部で「小グループでの意見交換」の全3部構成。

研修会全体としては、オンラインを中心としたコミュニケーションについて実践的に学習する構成としたが、そもそもオンラインでの参加にハードルの高さを感じる会員が一定数いることから、事前に導入手順を丁寧に説明した上で、第1部において、NPO法人ITコーディネータ広島の児玉学理事長から、オンライン会議システムの基礎について説明を行った。その後、組合や組合員企業が業務効率化を図るためのグループウェア活用や、組合と組合員間の情報共有迅速化のためのデジタルネットワーク活用について学んだ。



第2部では、コロナ禍でも積極的に事業展開する2件の事例紹介を行った。

広島広告美術協同組合の寺岡弘記青年部会長からは、コロナ禍で自分たちに出来ることを考え、すみやかに具体化した取組みについて説明が行われた。同組合では、コロナ禍で売上減少の大きい飲食店を支援するために「テイクアウト」や「デリバリー」を行っていることを知らせるための店

頭ステッカーやタペストリーを作成し、無料配布した。また、不特定多数の人が出入りする店舗や事務所等であらゆるウイルスの感染防止のための「抗ウイルスフィルム」を、現在は社会貢献として無料で配布しているが、製作している組合員企業のためにも、早期の事業化を目指していきたい。

熊野筆事業協同組合の吉川美樹事務局長からは、熊野町の一大会事である「筆まつり」をオンラインで開催したことについて説明が行われた。コロナ禍でやむを得ず選択した方法であるが、結果としては遠方からでも参加できるオンラインの長所が活かされ、県外をはじめ海外からも多くの顧客が集まり、「アクセス数」「売上高」共に予想を上回るイベントとなった。しかし、この企画は準備期間が数ヶ月と限られた中、初めての方法で実施したこともあり、事務局としての苦労話を披露された。

オンライン方式での事業実施ができた要因について、日頃のコミュニケーションで築かれた信頼関係にあったと分析している。司令塔としての役割を担う組合事務局が、組合員企業に無理・難題を求め、何とか期限内に準備できたのは、「組合からの要請であれば」と協力していただいたからに他ならないとのことであった。

第3部では、「ニューノーマルな時代を生き抜くためには、組合事務局として何ができるのか」をテーマに、3～4人の小グループに分かれてオンラインで意見交換した。20分という短い時間であったが、オンラインの有効性を実感したとの意見が多く出されると共に、組合員との普段のコミュニケーションによる信頼関係の重要性について共感の声が多かった。

組合士会では、危機的状況下での対応事例について理解を深めることが出来たと考えており、今後も環境の変化に対応し、チャレンジしようとする組合士を後押しして行きたいとしている。



# 輪になれ広島

## 組合NEWS

### コロナ禍でがんばる組合・企業の 取組みを紹介します！

新型コロナウイルス感染症による影響が深刻さを増す中であっても、苦境を乗り越えるための工夫を凝らした取組みが行われています。組合組織の強みを活かした事業、新たな企業連携、市場変化対応による新商品開発など、協同・連携、相互扶助に積極的に取組んでいる会員組合・企業をご紹介します。

#### 寄付・支援活動

##### 「つなぐ食堂」を開催 ～卸まちがコロナ禍で苦しむ飲食店をつなぐ～ 協同組合福山卸センター

当組合は、コロナ禍で苦しむ地元飲食店や弁当販売店等の事業者を招き、組合会館及び組合駐車場にて「つなぐ食堂」を開催した。昨年度の卸商業団地機能向上支援事業にて組合ビジョン策定に取組み、卸売は製造と小売をつなぎ、人と人をつなぐ役割であり、卸町がその機能を担うという考えから基本コンセプトを「つなぐまち、おろしまち」とした。

本年度、この組合ビジョンの実現に向けて検討する中、「組合員は飲食店の誘致を望んでおり、コロナ禍で経営に苦しむ飲食店も食を提供する機会を望んでいる。ここで飲食店によるランチのデリバリー&ケータリングサービスを行うことで新たなつながりが生まれ、飲食店、卸町ともに元気になれるのではないか。」と考えた。

テーマを「『つなぐ食堂』美味しいお弁当と共に笑顔を届ける。美味しいお弁当を食べて元気に働く！」とし、弁当販売やキッチンカー等5事業者が出店、第1回は11月10日(火)12時～13時30分に開かれ、用意したランチは組合員企業の従業員に提供され、完売するほど盛況であった。

門田実行委員長(当組合常務理事)は、「始まるまでは不安だったが予定食数をクリアできほっとしている。改善点もあるが修正しながら12月下旬まで開催していきたい。食は笑顔を作る。コロナ禍でも美味しいものを食べて、出店者、組合員が共に笑顔になり、元気になってくれればと思っている。」と話された。

「つなぐ食堂」は、12月22日までの毎週火曜日、同時間帯での開催を予定している。



#### 新事業・新商品開発への取組み

##### コロナ禍がものづくりの原点に戻るきっかけに！ 株式会社にしき堂(広島県菓子工業組合組合員)

コロナ禍により、土産物の売上が大きく落ち込む中で、もみじ饅頭などの製造を手掛ける同社が、この苦境を逆に機会と捉え、新製品開発を促進している。



今夏に期間限定で「あんずもみじ」を販売し、10、11月には秋限定の新商品「かぼちゃもみじ」を売り出した。何れも20代から30代までの若手社員で構成する新商品開発プロジェクトチームによる開発であり、両商品共に主力商品に次ぐほどの好調な売り上げとなっている。

同社が大切にしている言葉は『誠』と『百試千改』。『誠』は、誠心誠意の気持ちで、人の心が温かくなるように一生懸命奉仕することを示し、『百試千改』は、客の声に応えられるまでは試作を「百回試して千回改める」という決意を示している。これらの言葉は、商品開発に妥協しない同社の意思であり、実際に開発に時間を掛けるため、ここ数年は自社のオリジナル商品を開発できない状況が続き、そのことに危機感を抱いていた。

そんな中で、新型コロナウイルスの感染拡大により観光客が激減し、同社の売り上げも5月には前年に比べ約2割にまで落ち込む状況となった。このような逆境の中で、「広島の人たちをお菓子で笑顔にしたい」という思いから、生まれた社員の時間を、新商品開発に使おうと決意した。同社の大谷専務は、「コロナ禍で店が暇になり時間ができたことが、ものづくりの原点に戻るきっかけを与えてくれた。もみじ饅頭は生地と餡の組み合わせで、さまざまなアレンジができるので、来春以降にまた新たな展開を考えている。」と今後の意気込みを語られた。



## ボトムアップでDXに挑戦し、営業スタイルを革新！ 深江特殊鋼株式会社

特殊鋼の加工販売業を展開する同社は、ボトムアップで顧客開拓へのDX (IT活用によるビジネス変革) の推進を加速させている。

コロナ禍で対面型の営業活動が十分に行えない中、成約見込みの高い営業先の選定、非対面型のコミュニケーションによる受注獲得は、多くの企業で課題となっている。新型コロナウイルスの感染拡大前からビデオ会議システムでの営業など、デジタルシフトを進めてきた同社も同様の課題を抱えていた。

営業メンバーは、対面型の営業活動の縮小で生まれた空き時間を利用し、「コロナ禍でも付加価値を高められる営業スタイル」について議論を重ねた。役員も巻き込んで議論を深めた末に、同社Webサイトに蓄積されたアクセス情報等を活かす営業スタイルにたどり着いた。

今年3月、DX着想前から準備を進めてきた、深穴加工の受注に特化したWebサイト「BTA・ガンドリル加工.com」

を開設。続いて10月、問題解決型のソリューションサイト「機械加工調達ナビ Meta-Navi (メタナビ)」を開設した。

これらのサイトの本来の目的は、機械加工の受注にあるが、材料や加工技術の紹介など、ものづくり企業の興味を引く情報についても幅広く発信し、多くの見込み客を呼び込むことを目指している。

自社サイトへのアクセスや資料請求など蓄積された履歴情報を分析することで、成約の見込みが高い「脈アリ」の企業を抽出することにつながった。見込みの読めない企業に営業をかけるのではなく、この脈アリ企業への営業にリソースを集中させることで、業務の生産性が格段に高まってきている。自社サイトへのアクセス増加策として、国が運営するビジネスマッチングサイトであるJ-GoodTechへの登録情報も改めて充実させた。更には、Twitterでの情報発信も日々努めており、今年5月からの運用にもかかわらず、フォロワー数は1,300を超えている。

Meta-NaviやDXの取組みは、以前から社内にノウハウがあった訳ではなく、営業メンバーが手探りの中でDX営業に活路を見出し、試行錯誤を重ねて運用までたどり着いた。木村社長は「社員の提案から動き出したDXの推進によって、オンラインでの効率的な営業活動が可能となった。見積の競い合いで付加価値を下げてきた従来の営業スタイルを脱却していきたい。」と語っている。

## 林野庁より木材協同組合事業功績表彰者 として表彰されました

11月18日、福山木材協同組合の森本浩之理事 (株式会社森本製材所 代表取締役) が、地域の木材産業振興発展、団体運営に関する功績を認められ、この度、林野庁長官より感謝状を授与されました。

おめでとうございます。

**森本 浩之 氏**  
福山木材協同組合 理事

佐藤理事長 (左) と  
森本理事 (右)



※中央会では、会員組合に関連する国・県等からの表彰について、できる限り記事として掲載していきたいと思っておりますので、皆様からの情報提供をお待ちしております。

## お 知 ら せ

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店等の皆様へ

地方公共団体等と連携して申請すると

## テイクアウトやテラス営業などのための 道路占用の許可基準を緩和します

広島県では、広島県管理道路において、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店等の皆様を支援するための緊急措置としてテイクアウトやテラス営業などのための道路占有許可基準の緩和措置を行いました。その緩和措置の占有期間について、令和2年11月30日までとしていたところですが、このたびは令和3年3月31日まで延長することとしました。



イメージ(佐賀県より提供)

### 緩和措置のポイント (赤字部分が変更点)

|      |                                                                                                                                                                         |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 内容   | ① <u>新型コロナウイルス感染症対策のための暫定的な営業</u> であること<br>② 「 <u>3密</u> 」の回避や「 <u>新しい生活様式</u> 」の定着に対応すること<br>③ テイクアウト、テラス営業等のための <u>仮設施設の設置</u> であること<br>④ <u>施設付近の清掃等</u> にご協力いただけること |
| 主体   | 地方公共団体又は関係団体※1による一括占有※2<br>※1 地元関係者の協議会、地方公共団体が支援する民間団体など<br>※2 個別店舗ごとの申請はできません。<br>お住まいの地方公共団体等にご相談ください。                                                               |
| 場所   | 道路の構造又は交通に著しい支障を及ぼさない場所<br>※ 歩道上においては、交通量が多い場所は <u>3.5m以上</u> 、その他の場所は <u>2m以上</u> の歩行空間の確保が必要です。<br>※ 沿道店舗前の道路にも設置可能です。                                                |
| 占用料  | 免除                                                                                                                                                                      |
| 占有期間 | <b>令和3年3月31日まで</b> (令和2年11月30日までを延長)                                                                                                                                    |

## 【お問合せ先】

広島県 土木建築局 道路河川管理課  
 電話番号：082-513-3903

# お知らせ

## 小学校休業等対応助成金の活用方法と相談窓口のご案内

令和2年2月27日から同年12月31日までの間に、**新型コロナウイルス感染症に関する対応として臨時休業等をした小学校等に通う子どもの世話を保護者として行うことが必要となった労働者**に対し、有給（賃金全額支給）の休暇（労働基準法上の年次有給休暇を除く）を取得させた事業主は助成金の対象となります！

### 活用方法・申請期限

- ・令和2年2月27日から9月30日までの休暇に関する**申請期限は12月28日**です。  
※ 令和2年10月1日から同年12月31日までの休暇に関する申請期限は令和3年3月31日です。
- ・助成内容は**特別休暇を取得した対象労働者に支払った賃金相当額×10／10（※）**です。  
※ 日額上限：15,000円（令和2年3月31日までの休暇分については8,330円）
- ・この助成金は、既に欠勤や年次有給休暇の取得として処理された分についても、事後的に特別休暇に振り替えた場合は対象になります。



事業主の皆さまには、この助成金を活用して**有給の特別休暇制度を設けていただき、保護者が希望に応じて休暇を取得できる環境を整えていただくとともに、過去に欠勤等で処理した分**についても、**特別休暇に振り替えて**本助成金をご活用いただけるよう、ご検討をお願いします。

### 申請手続き及び申請に係る相談窓口のご案内

- ・申請手続き、助成金の支給要件等の詳細について、下記のコールセンターでご相談に対応しています。助成金の申請書類は、下記の「受付センター」まで郵送をお願いします。
- ・また、広島労働局『小学校休業等対応助成金に係る特別相談窓口』において、**申請書類の作成支援を全面的に行います。**

- ①【**コールセンター**】 申請方法等のお問い合わせは、下記のフリーダイヤルまで（フリーダイヤル）**0120-60-3999** 受付時間：9：00～21：00 土日・祝日含む
- ②【**受付センター**】 申請書の提出先は、こちらです。  
**〒137-8691 新東京郵便局 私書箱132号 学校等休業助成金・支援金受付センター**  
※郵送先は厚生労働省・広島労働局ではありません。  
必ず配達記録が残る郵便（特定記録郵便やレターパックなど）で配送してください。
- ③【**広島労働局『小学校休業等対応助成金に係る特別相談窓口』**】 **TEL：082-221-9247**

その他の支給要件や具体的な手続きは厚生労働省ホームページにて確認ください。  
申請書は、厚生労働省HPから印刷してください。

新型コロナ 休暇支援

検索





10月

## 景況 REPORT

— 情報連絡員報告から —



増加・上昇・好転



変らず



減少・下落・悪化

## 製造業

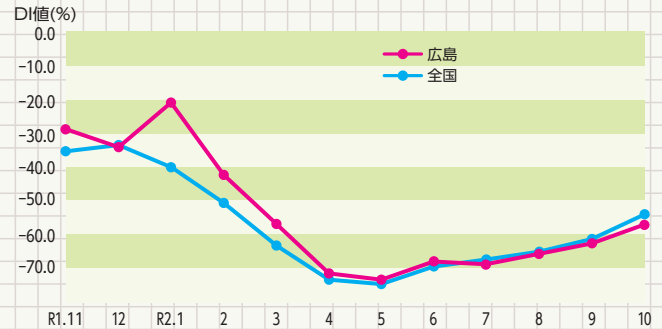
| 業種                | 動向項目 | 前月比 |       | 前年同月比 |       |
|-------------------|------|-----|-------|-------|-------|
|                   |      | 売上高 | 業界の景況 | 売上高   | 業界の景況 |
| 食料品               |      | ☀   | ☁     | ☁     | ☁     |
| 繊維・同製品            |      | ☁   | ☔     | ☔     | ☔     |
| 木材・木製品            |      | ☀   | ☀     | ☔     | ☔     |
| 印刷                |      | ☁   | ☁     | ☔     | ☁     |
| 化学・ゴム             |      | ☔   | ☁     | ☁     | ☔     |
| 窯業・土石製品           |      | ☀   | ☀     | ☀     | ☀     |
| 鉄鋼・金属製品           |      | ☀   | ☁     | ☔     | ☔     |
| 一般機器              |      | ☔   | ☔     | ☔     | ☔     |
| 電気機器              |      | ☀   | ☁     | ☔     | ☔     |
| 輸送用機器<br>(自動車・造船) |      | ☔   | ☔     | ☔     | ☔     |
| その他<br>(家具・装備品)   |      | ☁   | ☁     | ☔     | ☔     |

(注)DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

## 非製造業

| 業種                            | 動向項目 | 前月比 |       | 前年同月比 |       |
|-------------------------------|------|-----|-------|-------|-------|
|                               |      | 売上高 | 業界の景況 | 売上高   | 業界の景況 |
| 卸売業                           |      | ☀   | ☔     | ☔     | ☔     |
| 小売業                           |      | ☀   | ☔     | ☔     | ☔     |
| 商店街                           |      | ☀   | ☔     | ☔     | ☔     |
| サービス業<br>(自動車整備・広告・警備・情報サービス) |      | ☔   | ☁     | ☔     | ☔     |
| 建設業<br>(工事業)                  |      | ☀   | ☔     | ☔     | ☁     |
| 運輸業                           |      | ☀   | ☁     | ☔     | ☔     |
| その他<br>(不動産業)                 |      | ☔   | ☁     | ☁     | ☁     |

## 景況DI値の推移 (前年同月比)



## 情報連絡員からのコメント紹介

※本調査は11月の見通しについても調査をしている関係上、特に新型コロナウイルスの世界的感染拡大に対する11月以降のコメントも掲載しています。

## 製造業

## 食料品

●今月の売上は、前年比、前年同月比ともに増加となった。全体的にようやく回復の兆しが出てきた。しかし、多くの業種で未だ消費が伸び悩んでいるように感じる。

●10月の出荷量は前月比11.6%増加、前年同月比10.9%減少となり、売上高は前月比12.2%増加、前年同月比11.8%減少となった。

## 木材・木製品

●景況感は一上向きつつあるも、売上は前年比減少となった。今後の見通しも良くない。

## ●＜全国＞

- ・令和2年9月の全国の住宅着工戸数は70,186戸で前年同月比9.9%減少
- ・季節調整済年率換算値では815千戸(前月比0.5%減少)

- ・利用関係別では、持家は22,337戸で前年同月比7.0%減少、貸家は25,053戸で前年同月比14.8%減少
- ・分譲住宅は22,159戸で前年同月比7.8%減少
- ・木造住宅着工は39,905戸で前年同月比10.2%減少
- ・住宅着工動向は前年同月比15ヶ月連続の減少でリーマンショック後に次ぐ低水準が続いている

## ●＜広島＞

- ・9月の着工戸数は1,532戸で前年同月比18.7%増加
- ・内訳としては、持家は440戸で前年比9.1%減少、貸家は467戸で前年比2.9%減少、分譲は624戸で前年比92.6%増加と県全体の住宅着工動向は4ヶ月ぶりの増加となった。
- ・プレカットの稼働状況も工場間で差はあるものの、非住宅木造物件の加工が増えていることもあって全体的に繁忙感が強まっている。
- ・住宅営業では、Webでの来場予約受付やPRが出来るかの営業力により差がついている。
- ・梱包やパレットなど物流資材は依然として需要が落ち込み低迷している。
- ・コロナ禍で先行きが見通しづらい状況ではあるが、受注戦略や営

業力による差は大きく、堅調な企業がある一方で、業況悪化を訴える企業も多く2極化が進んでおり、今後の動向をしっかり注視していく必要がある。

●今月の広島県内のプレカット工場の市況としては多忙であり、第5週はずれ込みもあってペースダウンしており各社1日1時間程度の残業で稼働している。来月以降の見積もりは減少しており年内は1日1時間程度の残業が出来れば良いというぐらいの見通しである。

原木市場の相場は、9月は桧を中心に上げ基調が続いていたが、中旬に落ち着きを取り戻した。スギについては、需要を満たすだけの原木出材がなくジリジリと相場が上がりつつある。

ここ数年、冬場の大雪や原木の凍結による影響が少なかったことから原木出材や工場の製材がスムーズであったものの、今年は雪が多いとの予想が聞かれることから、原木在庫を十分確保しておく必要がある。

#### 印刷 (出版・印刷・同関連)

●新型コロナウイルス感染症拡大に関して、今後はいかに対策をして細心の注意を払いつつ開催する方向を模索するかという段階に入ってきたように思う。印刷業界もニューノーマルを1つずつ積み重ねていく努力が必要である。

#### 化学・ゴム (工業用ゴム製品)

●政府や地方自治体のGoToキャンペーン、地域クーポン券など、各種補助金制度により少しずつ経済が上向いてきた感じがある。しかし、全世界において再び新型コロナウイルス感染が再拡大しており、ヨーロッパ各国においてはロックダウンが再び始まっている。自動車業界においては、9月、10月は前年比9割程度まで仕事量は回復しているが、安定はしておらず、再び低下する恐れもあり、先行きは不透明であると言わざるを得ない。

#### 化学・ゴム (プラスチック製品製造業)

●自動車関連の売上・設備操業度は若干回復基調で、業界全体では未だ減少したままである。問題は、未だコロナ禍の終息時期が見えないことである。

各社雇用調整助成金を活用しているが、入金に時間がかかり資金繰りに苦慮している。

#### 窯業・土石製品

##### ●出荷状況

R2年10月3,838㎡(前年比11.63%増加)

R2年 9月3,159㎡

R1年10月3,438㎡

#### 鉄鋼・金属製品 (鉄鋼業)

●電気使用量が低調であり、各社の稼働状況が悪いことが伺える。

#### 一般機器 (一般機械器具)

●今月の売上は、前月比40%減少、前年同月比25%減少となった。

収益状況、設備操業度は未だ厳しい状況が続いている。受注は内外需ともに底打ちし、回復傾向にある。

業界の景況感は、受注が改善したことから、若干好転した。

●組合員において、家賃支援給付金申請を検討している企業が3社程度ある。

今月の売上は、前年同月比では昨年の消費税率引き上げ時の反動減よりは若干増加している。

#### 電気機器 (電気機械器具)

●今月は、先月より輸出が改善したが、国内は依然厳しく前月比3%増加、前年同月比10%減少となった。

各業種の設備投資の減少の影響も大きく、特に小型機種での減少幅が大きい。

海外からの受注が回復傾向にある。

#### 輸送用機器 (輸送用機械器具(自動車))

●組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客(マツダ)の業況(生産台数)に比例している。

・10月の国内自動車販売台数は全需が407千台、前年同月比29.2%増加と13ヶ月振りの前年超え。登録車は前年同月比31.6%増加と13ヶ月振りの前年超え、軽自動車も前年同月比で25.6%増加と13ヶ月振りの前年超え。マツダ車は同13.6%増加と7ヶ月振りの前年超え

・アメリカの9月の全需は1,352千台で前年同月比6.2%増加と7ヶ月振りの前年超え。マツダ車も同28.7%増加と4ヶ月振りの前年超え

・欧州の9月の全需は1,523千台で、前年同月比3.8%増加と9ヶ月振りの前年超え。マツダ車は同25.3%減少と9ヶ月連続の前年割れ

・中国の9月の全需は1,744千台で、前年同月比23.1%減少。マツダ車は同1.5%増加と2ヶ月振りの前年超え

・上記各地域の状況下、マツダ車の9月の海外販売合計台数は103千台、前年同月比6.4%減少で9ヶ月連続の前年割れ

・マツダの9月の輸出台数は前年比6.3%増加と12ヶ月振りの前年超え

・マツダの9月の国内生産台数は、前年同月比1.7%減少と12ヶ月連続の前年割れ

#### 輸送用機器 (輸送用機械器具(造船))

●県内2,500総トン以上の令和2年9月の船舶建造許可実績は3隻166,100総トンであった。(前月4隻94,400総トン、前年同月3隻117,150総トン)

なお、内訳は3隻が輸出船で、貨物船2隻、油槽船1隻であった。

●中小造船業については、前月と大きな変化はない。

## 非製造業

●全体として景況感に大きな変化は見られない。

「雑貨」においては、日配・生活必需品関連に持ち直しの動きが見られるが、観光・紙関連では依然厳しい状況が続いている。

「資材」においては、裾野の広い建築関連投資は中止、延期等動きは低調、来年以降の受注減少が見え始めている。

「食品」においては、日配・生鮮等家庭用と外食等業務用で依然明暗が分かれ、後者におけるGoToの顕著な効果は見られない。

「繊維」においては、コロナ禍により売上見通しは販路・チャネルにより異なり、堅調なネット販路を除き、総じてコロナ禍の長期化に伴う在庫負担、資金繰りへの影響が懸念される。

新型コロナウイルスの影響に対し、助成金や金融機関からの資金調達により短期的な資金を賄ってきたが、金融債務が増加する一方、キャッシュフロー改善に向けた打開策が見いだせず、状況は更に悪化している。

●今月もコロナ禍により、売上は前年比減少となった。

#### 卸売業 (電設資材)

●コロナ禍の影響で、新築住宅着工数が減少し続けているため、電設資材業界の売上にも影響が出てきている。特に持ち家と分譲の減少が大

きい。

#### 卸売業(家具)

●今月の売上は、前年同月比で増加となったが、これは昨年10月の消費税率引き上げの反動減によるものであり、売上は平年水準には至っていない。

#### 卸売業(量・数物)

●今月の売上は、前年同月比、前月比ともに20%程度の減少となっている。

コロナ禍で回復基調には至っておらず、各商店や生産者においても販売努力はしているものの、実績が伸びないのが現状である。

一方、中国産の量表についても計画的な輸入もあり、前年比減少となっている。コロナ禍で、営業・販売にも限界がある。新築建物も減少傾向にある中、業界をあげての取り組みが必要である。日本各地での展示会も頻繁に実施されており、各社努力を続けている状態である。

#### 小売業(各種商品小売業)

●今月の中央市場の取扱高は、水産部は前年割れが続く、青果部は相場高の影響もありカット野菜など手頃な商品が伸びている。コロナ禍の一次的特需であり、中でも業況がやや好況の食品スーパーとやや悪い中小小売店の業績格差がより大きくなっている。

コロナ禍でかつてない早さで消費環境が変わる中、消費者の節約志向が強まるにつれて、食品スーパーを中心に低価格競争が激化しており、じわじわと景気が後退する悪循環に陥っている。小売業の経営者にとっては厳しい局面が続くことが予想される。

GoToキャンペーンの恩恵にあずかる宿泊・飲食業者も明暗が分かれており、納入業者への波及効果も限定的な状況である。

●今月の売上は、前月比、前年同月比増加となった。一方、下げ止まらない店舗も一部あり、営業継続が困難ではないかと懸念している。

徐々にイベントを再開しているが、感染対策をしながらでは人数制限もあり満足に実施出来ていない。

#### 小売業(家庭用電気機械器具小売)

●今月の販売実績は前年同月比5.7%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比1.5%減少、冷蔵庫同12.3%減少、洗濯機同13.9%減少、IHクッキングヒーター同10.4%減少、エコキュート同5.1%減少、エアコン同2.7%増加となった。

国の助成金が行き渡り一段落したようで、エアコン以外の販売にブレーキがかかった。今年の年末商戦は期待出来ないとの声が多い。

#### 小売業(その他の小売業(燃料))

●当組合の組合員は、法律で定められた品質の製品を取り扱っており、商品による差別化が出来ないことから価格競争に陥りがちである。安値量販志向の店舗がプライスリーダーとなり、小規模零細事業者の経営を圧迫している。このような構図から脱却できないため給油所のさらなる減少が起こりうる。これ以上の減少が続けば安定供給に支障をきたす地域が出かねない。

#### 商店街(各種商品小売業)

●今月は、人通りは戻ってきた感じはある。しかし、売上は前年水準まで回復していない。

●9月末に開店した塗装店が今月組合に新たに加入した。

11月下旬に呉市からの補助金を活用して中央地区の商店街振興組合が共同でプレミアム商品券を扱うこととなり、現在細目を理事長会で話し合っている。

#### サービス業(自動車整備業)

●車検台数は、前月比5.0%減少、前年比2.7%減少

車検場収入は、前月比5.1%減少、前年比2.8%減少

重量税・登録印紙の売上は、前月比5.5%増加、前年比1.6%増加

#### サービス業(広告業)

●今月は、やや受注量の下げ止まり感はあるが、イベント自粛解除によりイベント等の受注は増加傾向にある。ただし、未だ従来の受注量には戻っていない。

引き続き受注見込みは少ない状況にある。

#### サービス業(警備業)

●コロナ禍の長期化によるコロナ不況が心配される。

#### 建設業(工事業)

●今月の工事受付件数は、前月比36.3%増加、前年比40.5%減少となった。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新築住宅を踏みとどまる施主が多いと思われる。

●引き続き人手不足と、先行き不安感が続いている。

●カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、10月度は前月比9.6%増加、前年同月比6.8%増加、累計前年比7.8%増加となった。前月はカーテン、敷物が良く、今月は逆にクロスが好調で前年累計比では微増の状態が続いている。

コロナ禍で保留となっていた物件の工事が開始など明るい話題もあるが、年度末までの予測はつきにくい。

#### 運輸業(道路貨物運送業)

●今月は、自動車生産関連が復活しており、さらにGoToキャンペーンなど経済活動とともに物流は好転してきた。

土木建築関係の工事は、コロナ禍の影響をあまり受けておらず工事関連機材の長距離輸送が活発であった。また、10月は稼働日数が多く収益状況も前月比若干好転した。

●今月の売上は、前年同月比減少、前月比では大きな変化はない。

前月同様に「コロナ運賃」と称して返路貨物の運賃が値崩れを起こしている。経済活動は動いているように見えるが、国内物流が3月以前の水準まで回復するにはまだ時間がかかるのではないと思われる。売上、収益ともに前年同月比では減少または悪化しているが、軽油価格が下がっていることで、運行に係る経費が減少となり最低限の収益を確保している状態である。

●一進一退を続けている状況である。

#### 運輸業(水運業)

●船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない

#### その他(不動産業)

●先月は地価調査評価作業報酬、固定評価時点修正作業報酬の入金等で売上高等は好転したが、今月はそれがない分、売上高、収益状況は悪化している。

依然としてコロナ禍の不動産鑑定業界への影響は少ない。コロナ禍が長引けば、今後、企業の業績の悪化に伴い金融機関等からの不動産評価の依頼が増えてくるものと推測される。

不動産市場については、コロナ禍の影響による先行き不透明感はあるものの、低金利政策等により戸建て需要は堅調に推移している。マンション販売については、やや低調になってきている。



# 中央会誌

11月 NOVEMBER 2020

- 3日 ●中小企業組合検定試験受験講座（広島県中小企業共済（協）会議室）
- 5日 ●女性職員研修会（（協）夢高原市場）
- 6日 ●動画を作って販路開拓に活かすセミナー（オンライン）
- 9日 ●コロナ専門家派遣 中国塗装（協）
- 10日 ●ワールドスタッフ（協）外国人技能実習制度適正化事業（高橋精機（株））
- 11日 ●（協）東広島ショッピングモール 活路開拓事業ビジョン作成事業第2回委員会（フジグラン東広島会議室）
- 13日 ●広島県警備業（協）諸制度改正に伴う専門家派遣事業（リライアンス・セキュリティ（株））
- 13日 ●令和2年度広島市優良技能勤労者表彰式（広島市役所本庁舎）＜会長＞
- 17日 ●組合士会研修会（オンライン）
- 18日 ●（協）IBS 外国人技能実習制度適正化事業（組合事務所）
- 18日 ●コロナ専門家派遣 広島県アパレル（工）
- 19日 ●コロナ専門家派遣 広島市北部造園（協）
- 20日 ●（協）広島マリンワールド 外国人技能実習制度適正化事業（JMU呉事業所）
- 20日 ●コロナ専門家派遣 広島県石油販売（協）
- 20日 ●瀬戸内フードコミュニティ 展示会等出展・開催事業・本委員会（第4回）（広島市産業振興センター会議室）
- 21日 ●公明党広島県本部政策要望懇談会（公明党広島県本部）＜会長・専務＞
- 25日 ●広島県二輪自動車（協）特定問題研究会「ICTの活用法」（中小企業会館）
- 25日 ●コロナ専門家派遣 広島市北部造園（協）／中国塗装（協）
- 26日 ●ものづくり連携倶楽部ひろしま 第12回講演会（オンライン）
- 26日 ●創研ファッション（協）外国人技能実習制度適正化事業（フジタ・アパレル（株））
- 27日 ●広島県警備業（協）諸制度改正に伴う専門家派遣事業（リライアンス・セキュリティ（株））
- 27日 ●瀬戸内フードコミュニティ 展示会等出展・開催事業・本委員会（第5回）（おりづるタワー会議室）
- 27日 ●動画を作って販路開拓に活かすセミナー（オンライン）

※太字になっているものが、広島県中央会の事業・行事になります。

## 編集後記

我が広島カープの今シーズンが終わりましたのでふり返りを。コロナの影響で開幕が6月にずれ込み、無観客や人数制限の中で試合が行われるなど大変なシーズンでしたが、個人的には全120試合をよく消化することができたなあという思いです。カープの成績のことはあまり触れたくないのですが、52勝56敗12分け、シーズン終盤に借金4までなんとか戻した感じですが、結果的には5位、2年連続のBクラスで終わり、ちょっとだけ市民球場時代の懐かしい暗黒期を思い出しました。

戦いを振り返ってもあまり印象に残る試合が無いのですが、新人・森下投手の活躍は観ていて爽快なものがありました。今年のカープは勝つということへの執着心があまりないように見えたのですが、森下投手の登板日だけは妙に「今日は勝つぞ!」といった雰囲気を感じました。よく覚えているのは10月24日、彼が巨人の戸郷と新人王を争う中でのDeNA戦、1-1の同点で迎えた8回に森下が自ら決勝タイムリーを打ち、ベンチに向かってガッツポーズ!そのまま9回を投げ抜き、2-1で見事な完投勝利でした。

おそらく、森下投手の新人王はまちがいないでしょう。自分と同郷の大大出身の投手でもありますので、これからも応援していきたいと思っています。（筒井）

## 表紙のことば

山県郡安芸太田町  
「戸河内削物」  
お鍋の底に沈まず浮き上がる「浮上お玉」  
が有名です!



写真提供:広島県

## 刃物で削り抜き作り上げる木工細工

ノミやかんな、柳刃を使って木を削り、器や杓子を作り出す「戸河内削物」は、江戸時代後期、宮島細工職人の藤屋大助が創始したと伝えられている伝統工芸品です。もともとは宮島で生産されていましたが、大正時代初期に職人の一人である福田李吉が木材の調達先である戸河内町（現：安芸太田町）に移り住み、技術を伝えたことで、この地で「戸河内削物」が作られるようになりました。ひとつひとつ丁寧に削って仕上げる作品は、手仕事の温かみを感じる一点物として人気。特に「浮上お玉」と呼ばれる木杓子は鍋のなかに「沈まない縁起物」として多くの人に愛用されています。（広島県指定伝統的工芸品）



## メルマガ会員募集中

当会のメルマガにご登録いただいた方には、公の施策やセミナー案内状などの「最新情報」を定期的にお届け致します。  
組合運営に係るお役立ち情報をお届け致しますので、是非ご登録ください!!

ご登録はこちらの  
アドレスへご一報下さい。

E-mail: chuokai@chuokai-hiroshima.or.jp





ポリテクセンター広島

## 能力開発セミナー

※新型コロナウイルス感染拡大防止の対応により日程変更等を行う場合があります。  
お申し込みの際はお電話・ホームページにて最新の情報をご確認ください。

## 『能力開発セミナー』とは

ものづくり分野を中心とした技能・技術および専門的知識の向上を目的とした在職者の方を対象とした職業訓練です。

## 機械設計・加工分野

## 精密ワイヤ放電加工技術

《コース番号》 P3201  
《日程》 1/18, 19  
《受講料》 20,000円

3次元CADを活用した  
アセンブリ技術

《コース番号》 P0702  
《日程》 1/28, 29  
《受講料》 9,000円

## 金属加工・溶接分野

## ろう付技能クリニック

《コース番号》 M1001  
《日程》 2/6, 7  
《受講料》 15,000円

## 鉄鋼材料の熱処理技術

《コース番号》 M1102  
《日程》 2/13, 14  
《受講料》 12,500円

TIG溶接技能クリニック  
(各種材料施工編)

《コース番号》 M0401  
《日程》 3/5, 6, 7  
《受講料》 20,000円

溶接品質改善のための  
試験・検査実践

《コース番号》 M1401  
《日程》 2/26, 27, 28  
《受講料》 19,000円

## 電気・電子・制御分野

スマートデバイスによる  
PLC制御技術

《コース番号》 E5201  
《日程》 2/17, 18  
《受講料》 12,000円

オープンソース  
プラットフォーム活用技術

《コース番号》 E5101  
《日程》 2/3, 4  
《受講料》 13,000円

ARシステムを用いた  
半自動アーク溶接の技能伝承

《コース番号》 M0601  
《日程》 2/20, 21  
《受講料》 14,000円



## 建築・居住分野

実践建築設計  
2次元CAD技術

《コース番号》 H0103  
《日程》 1/16, 23  
《受講料》 9,500円



※令和3年度の能力開発セミナーのコースの詳細を記載した『セミナーガイド』(無料)を2月初旬頃にご用意いたします。貴社の教育計画を策定する際のお役に立てていただけるものと思いますので、ご希望の方は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。  
※企業単位でのオーダーコース(1コース12時間以上)を、5名様以上からご相談を承っております。

まずはお気軽にお問い合わせください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構広島支部 広島職業能力開発促進センター(ポリテクセンター広島)  
〒730-0825 広島市中区光南5-2-65 TEL:082-245-4338 FAX:082-245-3926  
ホームページの情報もご覧ください。

URL <https://www3.jeed.or.jp/hiroshima/poly/>



ポリテク広島

検索

## 商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

### 01.

#### 全国ネットワーク支援

全国ネットワークで、  
企業間の連携をサポート。

47都道府県に広がる店舗網や、7万社以上のお客さまとのリレーションを活かし、商工中金はビジネスマッチングや事業承継・M&Aなど、企業の縁結びをサポートします。

### 02.

#### 組合支援

中小企業組合の活動を、  
情報と金融でサポート。

個々の企業では解決しきれないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、組合運営のフォローや情報提供、ご融資まで、組合活動を継続的にサポートします。

### 03.

#### 海外展開支援

海外進出を、情報と金融で  
継続的にサポート。

海外拠点や現地の政府機関、提携金融機関とのネットワークを活かし、商工中金はお客さまの海外進出検討段階から現地での事業拡大ニーズまで、幅広くサポートします。

広島支店 〒730-0051 広島市中区大手町2-1-2

TEL:082-248-1151

広島西部支店 〒733-0833 広島市西区商工センター1-14-1

TEL:082-277-5421

福山支店 〒720-0814 福山市光南町1-1-30

TEL:084-922-6830

<https://www.shokochukin.co.jp/>

商工中金

検索



人を思う。未来を思う。

商工中金